

第3回 イオンSATOYAMA フォーラム 2026.2.18開催

第3回テーマ 里山・地域コミュニティがもつレジリエンス

2025年10月29日 山形県南陽市秋葉山火災「復興」植樹

イオン環境財団は、1990年に日本で初めて、地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として設立され、アジアを中心とする世界各地で環境活動を継続しております。2020年より各大学と連携し、SATOYAMA(里山)の再生や保全・利活用に取り組んでおります。

このたび、「里山・地域コミュニティがもつレジリエンス」をテーマに、第3回イオンSATOYAMAフォーラムを開催いたします。自然災害への事前防災から復旧・復興までにおいて、地域コミュニティや里山がもつレジリエンスが注目されているなか、連携する大学や活動団体など多様なステークホルダーの視点から、発表・意見交換を行います。

開催日時

2026年2月18日(水) 10:00~15:30

開催形式

- ① 会場参加：国連大学 3階 ウ・タント国際会議場 (300名)
東京都渋谷区神宮前5-53-70
- ② オンライン参加：Zoomウェビナー

参加費

無料

参加申し込みはこちらよりまたは「イオンSATOYAMAフォーラム」で検索

会場参加申込み締切 2026年2月8日(日) *オンライン(Zoomウェビナー)は当日参加も可



主催：公益財団法人 **イオン環境財団** 後援：環境省

公益財団法人イオン環境財団 TEL: 043-212-6022 (平日のみ10:00~17:00)

第3回イオンSATOYAMAフォーラム概要

プログラム(予定)

第一部 10:00~12:00

●基調講演



「東日本大震災から15年 教訓とその伝承」

東北大学 副学長
災害科学国際研究所 教授 今村 文彦



「能登半島地震からの地域内外のつながりを活かした再生と復耕の実践報告」

一般社団法人のと復耕ラボ 代表理事 山本 亮



「里山整備による減災対策」

南島原市みんなの森守協議会 理事
前南島原市役所 農林水産部長 内田 繁治



「綾ユネスコエコパークのつながる自然とつなげる地域」

綾町役場ユネスコエコパーク推進室 係長 河野円樹



「変化する里山景観にみる森林と地域住民のレジリエンス—ボルネオ熱帯の事例から—」

大阪公立大学 大学院理学研究科 教授 竹内やよい

第二部 12:45~15:30

●連携大学の2025年度活動紹介とパネルディスカッション

■テーマ「里山・地域コミュニティがもつレジリエンスについて」

■モデレーター 東北大学 災害科学国際研究所 准教授 佐藤翔輔

■パネラー

一般社団法人のと復耕ラボ 代表理事 山本亮

京都大学 フィールド科学教育研究センター 特定研究員 小井土凜々子

国連大学 サステイナビリティ高等研究所客員リサーチフェロー IPS事務局長 渡辺綱男

千葉大学 大学院園芸学研究院 教授 高橋輝昌

東京大学 大学院新領域創成科学研究科附属 サステイナブル社会デザインセンター
特任准教授 ヤゼムブスキ マルチン

早稲田大学 文化構想学部 柳 百音

●イオンモール仙台上杉の事例紹介

※プログラムは現在の予定です。今後変更になる場合がございます

展示会場では、参加大学の研究・活動やイオン環境財団の里山での活動を紹介します。